

Title	家庭用VTR採用者の個人間コミュニケーション行動における一考察
Sub Title	
Author	廣島康眞 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1985
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1985年度経営学 第430号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001985-0430

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 廣 島 康 眞

主査 片 岡 一 郎

副査 滝 沢 茂

所属ゼミナール 滝 沢 茂 研

青 井 倫 一

家庭用VTR採用者の個人間コミュニケーション行動における一考察

本研究の最終目的は、互換性のない規格が並立している状況での、家庭用VTRのような製品特性をもつ民生用電子機器の採用に効果的な個人間コミュニケーションを促進させるようなマーケティング戦略への提言にある。

従来、効果的な個人間コミュニケーションを促進する重要性はマーケティングエグゼグティブに暗黙的に認識されているものにとらえどころのない概念として扱われ、その統制は難しくかつ多大な費用を必要とするとされている。また個人間コミュニケーションの機能と複雑性は、消費者行動研究においても重要な地位を占めるにもかかわらず、未だ十分には実証されていない。

本研究では最終目的への一指針として家庭用VTR採用者が行ったコミュニケーションのパターンを分類、コミュニケーションの効果とコミュニケーションの構成要素とのかかわりあい进行分析しながら提言へと展開していく。